

すわみつえ通信

No.385 2025年12月8日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届け
たい声がある 声をかたちに

【12月鴻巣市議会】文教福祉常任常任委員会にて〈報告〉

12月4日(木)に12月鴻巣市議会の文教福祉常任委員会を開催し、付託された以下の5件の案件について、審査しましたので、報告いたします。

①議案第98号「鴻巣市入学準備金貸付条例及び鴻巣市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例」

⇒上位法の学校教育法の一部が改正となったための条例改定です。

一定の要件を満たす専門課程を置く専修学校に専攻科を置くことができるようになるため、本市における入学準備金の貸付と奨学資金の貸与の対象として新たに「専攻科」を加えるものです。

②議案第99号「鴻巣市体育施設条例の一部を改正する条例」

⇒借地である吹上富士見ゲートボール場の土地を、所有者に返還することになり、施設を廃止するものです。質疑に対し、所有者からは「市に買ってほしい」と要請があり、検討をしてきた。また、当該施設を利用している団体すべてに直接に話をし、代替施設として「富士見公園」「コスモスアリーナ」等の利用で理解が得られたとの答弁がありました。

③議案第100号「公の施設の指定管理者の指定の期間の変更について」

⇒②に伴う指定管理者の終了です。

④議案第104号「令和7年度鴻巣市一般会計補正予算(第6号)」

⇒教育予算で、ICT環境整備事業の補正が提案されました。小学校で、121台、中学校で60台の学習者用端末の修繕費です。



故障個所の多くはディスプレイとキーボードのつなぎ目のところですが、保護者の方から、クラスで何人かは故障している間、貸与されずにプリント対応であったという声がありました。修繕にかかる日数・その間の対応を質疑し、「予備機器を1校あたり5台用意している。不足している学校があれば充足している学校からまわして、児童生徒に不備がないようにする」と答弁がありました。

⑤議案第106号「令和7年度鴻巣市介護保険特別会計補正予算(第2号)」

⇒2025年度税制改正に伴い、介護保険料の税収減となるため介護保険システムを改修するための費用です。2025年度税制改正における個人住民税に係る給与所得控除の最低保障額の引き上げ(10万円:55万円→65万円)に伴い、介護保険制度においては、保険料段階を住民税課税の状況や合計所得金額等に基づき設定していますが、保険料段階が下がる者が生じる等の影響がでないようにとの国の指示に基づき改修するものです。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

シクラメン咲きて集める視線と光

【俳句コーナー】

瑠璃子

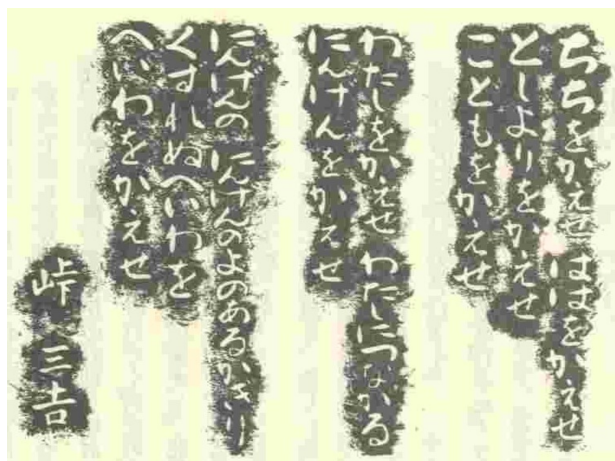
日本被団協 事務局次長 児玉三智子さんの感動の講演会に参加して

12月6日(土)、こうのすシネマ多目的ホールで開催された、鴻巣市日本共産党後援会主催の日本原子爆被害者団体協議会(日本被団協)の事務局次長を務める児玉三智子さんの講演をお聞きしました。7歳のときに広島で被爆された実体験を直接お聞きできるのはそうそうありません。

亡くなられたお母さん、弟さん、そして45歳の娘さんの死を語るのは大変なこと。全身全霊の思いを受け止め、「今日から一歩でも核兵器をなくすために」の呼びかけに応えていこうと改めて決意しました。



講演会の会場＝こうのすシネマ 多目的ホールA



講演に参加された方の感想 (一部)

- 唯一の被爆国の国民として、思いを共有すべきは義務と思いました。人類にとって、2度と繰り返してはいけません。
- すばらしい講演ありがとうございました。改めて戦争も核兵器もない世界を求めます。
- 講演が良かったです。つらい経験を生の声で訴える力が違いました。
- 日本被団協の皆さんがノーベル平和賞を授賞されたことは私達の誇りです。日本政府は今すぐ核兵器禁止条約に批准すべきです。声をあげましょう。国から保障が未だにないなんて考えられない。こんなにむごく、つらい体験を良くお話いただきました。